

令和2年度 年間授業計画

都立第一商業高等学校

教科・科目	国語科 国語総合	単位数	4	対象学年・組	第一学年A組～F組
教科書 使用教材	第一学習社 『高等学校 国語総合』	教科担任	笠原紀一・進藤雅枝・田中優可子		

1. 目標

- ① 主体的な学習の仕方・授業の受け方を身につけさせる。
- ② 先人たちの多様な考え方・生き方を読書によって経験させる。
- ③ 語彙を増やし、言語感覚を磨かせる。
- ④ 古文、漢文を読むための基礎的な文法を理解させる。
- ⑤ 古典に親しむことによって、伝統的な言語文化への関心を興味・関心を広げる。

2. 学習内容と学習上の留意点

学期	指導内容	具体的な指導目標	学習上の留意点	予定時数
1 学期	評論「水の東西」 詩「I was born」 古文「児のそら寝」 小説「羅生門」 古文「絵仏師良秀」	構成を意識して主張を追う。 技法を意識して主題を考える。 歴史的仮名遣いを読めるようにする。 細かい情報を心情読解につなげる 文語における品詞を理解する。	論理的な読み方を習得する。 作品を鑑賞する方法や態度を身につける。 古典に親しませる。 作品を鑑賞する方法や態度を身につける。 古典に親しませる。	34
2 学期	評論「グローバリズムの『遠近感』」 小説「夢十夜」 古文「筒井筒」 小説「城の崎にて」 漢文「訓読に親しむ」 漢文「虎の威を借り」	対比構造を理解して主張を追う。 小説の構成の巧みさを理解する 動詞を活用できるようにする。 情景から登場人物の心情を読み取る 漢文法を理解し、書き下し文を書けるようにする。	論理的な読み方を習得する。 読書に親しませる。 古典に親しませる。 作品を鑑賞する方法や態度を身につける。 訓読の基礎を身につける。	42
3 学期	評論「『間』の感覚」 古文「ある人、弓射ることを習ふに」 漢文「訓読に親しむ」 漢詩	指示語に留意して主張を読み取る。 先人の考えを読み取る。 再読文字の使い方を理解する。 漢詩独特のリズム感を味わう。	文章全体の論理的な枠組みを把握する。 古典に親しみ、学習方法に習熟する。 訓読の基礎を身につけさせ、漢詩に親しませる。	24

配当時間は一応の目安であり若干の増減はある。

3. 授業を受ける上での注意

- ① 読む、書く、調べることを主体的に行う機会を設ける。
- ② 語句を自ら調べることで語彙を増やす。
- ③ 自分の意見を持ち、それを論理的に伝えることを目指す。

4. 評価の観点・方法

- ① 学んだことを理解し、聞かれたことに対して正確に答えられるか。(定期考査)